

## 今、教育委員は！

平成28年5月  
教育委員 増田友厚

先日こんな詩に出会いました。

「パパ、ほんとう？

ぼくが生まれてきたときないたの？

すごくうれしかった？」 (松本竜太 7歳)

パパの顔をのぞき込むように問いながら、確かめているのです。きっと、パパは、にこやかな笑顔をむけて、何度も頷いたことでしょう。「ぼくが生まれた時、パパは涙を流して喜んでくれたんだ」飛び上がりたほどのうれしさが伝わってきます。

周りの人たちが、僕の存在をみとめてくれている。しかも、喜びの中で迎え入れてくれている。この確信が、生きる力の原点となり、様々な意欲を生み出していくのでしょうか。

子供たちに限りません。おとなたちもこんな語りかけをしたい。

「君たちみんながいてくれるから、うれしいな。」

「あなたに会えてよかった。また、元気がでたよ。」

互いに思いを重ねながら、人と人の関わりを大切にしたいと思いました。

### 1 第49回佐久市強歩大会 多くのボランティアに支えられて開催 蕪崎⇒佐久市 78キロメートル 842名が踏破

4月23日 午後9時 蕪崎小学校に集合した1081名の強歩大会参加者は、多くの蕪崎市の人々に励まされ、温かい声援を受けて夜道をスタートしました。蕪崎市は海拔351メートル、野辺山最高地点は1387メートルと高低差1000メートルの登りの坂道に臨み、更にこの日の野辺山付近の雨交じりの濃霧と寒さに体力を消耗する厳しい強歩となりました。



最短時間踏破者は、男性(41歳)、<蕪崎小学校をスタートする参加者達>7時間58分、女性(34歳)、10時間34分。最高年齢踏破者は、男性、79歳、女性71歳。連続踏破回数トップは35回。

中学生の参加も光っています。県内外から29名が参加し佐久市内からは21名、踏破者は9名。野沢中、中込中、浅間中の生徒たちです。

踏破できてもできなくとも、挑戦してベストを尽くすたくさんの参加者の姿に出会いました。共に踏破し喜び合うご夫婦、足を引きずりふらつきながらもゴールに向かう姿等に出会い感動を頂いた方も多いことでしょう。

また、安全な大会運営のために、労をいとわず支えて下さる蕪崎市の皆さん、多くのボランティアスタッフの皆さん、更には、ゴール地点で毎年温かいうどんを無償で提供し続け

て下さる方々に感謝しております。

## 2 豊かに進められる公民館活動

願いは、「集い、学び、むすび合う（繋がる）」こと。

- ① 大切にしたい市内各地区、236の地域公民館  
各地域の歴史や特性を生かした活動があります。料理、コーラス、手芸等の教室があり、熱心な地域では発表の場としての文化祭も開かれています。また、各種のスポーツ大会、秋の区民運動会等も続けられています。
- ② 中央公民館と7つの地区館（臼田、野沢、中込、東、浅間、浅科、望月）  
＜中央公民館＞  
今年の高齢者大学（年18回）、大学院（年12回） 乳幼児学級（65回以上）  
短詩型文学交流会、総合文化祭、わがまち佐久・市民講座、成人式、コーラスまつり等  
＜7つの地区館＞
  - \*市民ふれあい学級（家庭菜園、生け花、そば打ち、ヨガ、まち歩き、他多数）
  - \*親子ふれあい学級（おやつ作り、市内巡り、書初め、写生、等）
  - \*世代間交流学級（しめ縄作り、伝えたい佐久の味、等）昨年度の中央公民館と7つの地区館の講座は、延べ811回、19000人の多くの市民が参加下さいました。
- ⑧ 本年の特色ある講座
  - \*元気なおやしシリーズ（自然観察、料理教室等）
  - \*ふるさと再発見（中山道歴史の旅）
  - \*食育セミナー（親子で料理を作ろう）
  - \*夏の子ども公民館（星の教室、化石観察、水源地探検、陶芸・・・  
各公民館が独自に考えるワクワク企画）

このように共に学ぶ場が多くの方の皆さんの力で設定され開かれています。講座の内容や日時等は中央公民館(66-0551)かお近くの地区館にお尋ねください。

## 3 この夏、独創的な新企画 “キッズサーキット in SAKU”

### 児童、青少年のための 舞台芸術フェスティバル

テーマは、「つなごう児童・青少年の未来。広げよう心の世界を。」演劇を中心に音楽、舞踊などたくさんの舞台が展開されます。その概要をお知らせします。

- ① と き 8月5日（金）・6日（土）・7日（日）
- ② と ころ 佐久市内の各ホール  
コスモホール、佐久平交流センター、交流文化館浅科、  
駒の里ふれ合いセンター、市民創練センター など
- ③ 内 容 演劇、人形劇、影絵劇、音楽、歌舞、マスクプレイ、サーカス 等  
多彩なジャンルが用意されます。

観客は3日間のフリー入場券をもって、異なる公演会場をランダムに鑑賞してまわれます。

佐久市は平成26年より、鑑賞型プロモーションとして、文化振興基金を活用した小学6年生芸術鑑賞会と一般向け公演を実施してきましたが、本年はこれらに加えて、長野県内では最大規模となる、児童、青少年のための舞台芸術フェスティバルの公演を実施します。演劇を中心に音楽、舞踊などたくさんの優れた作品にであうことで、表現力や創造力を磨き、互いに尊重し合う人間性をはぐくむ機会になることを目的にしています。